

【学習の目標と学習方法】

・社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

授業について	家庭学習について	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・授業は教科書を中心にを行います。板書を写したり、資料を読み取ったりしながら基礎的な知識や技能を身につけた上で、ワークシートに取り組み、「なぜ」「どうして」など自分の考えをもち、表現することが大切です。 生徒のみなさんに ・授業中に疑問に思ったことや分かったこと、先生の話や友だちの考えなどは、ノートにメモをしましょう。 ・地図帳はいつも手元に置き、地名を学んだら必ず地図で確認しましょう。 ・国内外の社会の状況に関心をもち、新聞を読んだりニュースを見たりしましょう。家の人ともニュースについて話ができると良いです。	家庭学習について ・学んだ知識や技能、考える力はくり返し確認することで身につきます。授業があった日には、教科書を読む・ノートを見直す・問題に取り組むなど、復習に力をいれましょう。 ・ドリルパークを毎日取り組みましょう。 試験前はこのような取り組み ・まず教科書を音読しましょう。そして、授業で学んだ語句を書くことができるように、何度もノートに語句と意味を書き写しましょう。 ・歴史は、主なできごとを年表にまとめ、起きた順番を把握しましょう。 ・地理は、白地図に授業で学んだ特色などを書き込んでいきましょう。 ・公民は教科書をもとにもう一度ノートにまとめ、新聞やニュースに目を通しておきましょう。	評価観点 ・国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解している。 ・歴史の大きな流れを、各時代の特色を踏まえて理解している。 ・個人の尊厳と人権の尊重の意義を広い視野から正しく認識している。	・地理に関わる事象について、多面的・多角的に考察したりしている。 ・歴史に関わる事象を考察したり、思考・判断したことを説明、議論したりしている。 ・社会的事象を考察したり、思考・判断したことを説明、議論したりしている。	・日本や世界の地域に関わる諸事象を、主体的に追究、解決しようとしている。 ・歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・現代の社会的事象について、主体的に社会に関わろうとしている。
		評価資料 ・定期考査 ・(小テスト) ・(単元テスト) ・提出物	・定期考査 ・(小テスト) ・(単元テスト) ・提出物	・授業への取り組み (授業態度・授業内での発言・忘れ物など) ・提出物(ノート、ファイル、宿題、ワークシートなど) ・ドリルパークの取り組み

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	<歴史> 歴史の移り変わり <地理> 世界の姿 世界各地の人々の生活と環境				夏休み	<歴史> 原始・古代 <地理> 世界各地の人々の生活と環境 世界の諸地域				冬休み	<歴史> 近世の日本と世界 <地理> 世界の諸地域		計105h
	31					47					27		
2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	<歴史> 近世の日本と世界 <地理> 世界と比べた日本の地域的特色				夏休み	<地理> 世界と比べた日本の地域的特色 日本の諸地域 身近な地域の調査 <歴史> 近代の幕開け				冬休み	<歴史> 近代の幕開け 近代の日本と世界		計105h
	31					47					27		
3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	<歴史> 近代の日本と世界 二度の世界大戦と日本 現代の日本と世界 <公民> 現代社会と私たちの生活 私たちの暮らしと経済				夏休み	<公民> 個人の尊重と日本国憲法 現代の民主政治と社会 地球社会と私たち 私たちの暮らしと経済				冬休み	<公民> 現代の民主政治と社会 私たちの暮らしと経済 地球社会と私たち <3年間の総復習>		計144h
	53					67					24		